2022年度版
OKInawa Climate Action
第　1　号
2022年12月発行

沖縄県地球温暖化防止活動推進員 NEWSLETTER

脱炭素社会の実現に向け、県内各地で活動展開中！

沖縄県地球温暖化防止活動推進員の2022年度の主な活動を抜粋して御紹介します。
推進員に出前講座等をお願いしたい場合には、沖縄県地球温暖化防止活動推進センターまで御連絡ください（連絡先は裏面のお問合せ先を御確認ください。）！



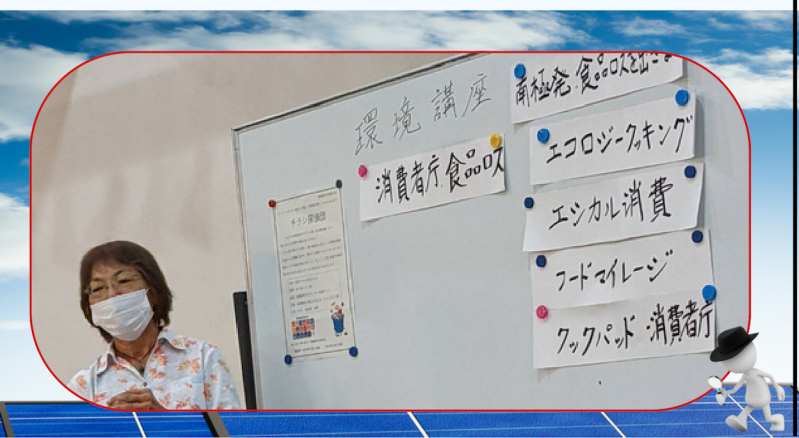


活動事例１
地球温暖化対策×ﾌｰﾄﾞﾏｲﾚｰｼﾞ



推進員：宮城 弘子さん
開催日：令和5年8月20日（土）

南風原町文化センターにて、おきなわ環境教育プログラム集（社会教育編）の「チラシ探偵団」を活用して、何気なく購入している食品がどこから運ばれているのかを学ぶ講座を開催しました。家庭からの食品ロスの現状を説明し、食料自給率と輸入食品からみえるエネルギー消費や食品ロスの問題から、南風原町のごみの現状など身近な問題に触れ、食品ロスを出さないアイデアや地産地消が地球温暖化対策にもつながることを伝えました。



活動事例２
地球温暖化対策×海ごみ

推進員：春川 淳さん
開催日：令和4年7月4日（月）、6日（水）

宮古島市立平良第一小学校の5年生92名と、北小学校の5年生44名向けに、海ごみワークショップを開催しました。
児童たちの「海ごみについて知りたいこと」についての解説や、アクティビティ体験をしました。ごみの量は？どこから来る？どのように処理される？生き物への影響は？といった質問が多く、ごみ問題は地球温暖化とも関係している、という意見もありました。体験を通してごみ問題を自分事としてとらえ、行動してくれることが期待できます。



2022年度版

OKInawa Climate Action

第　1　号
2022年12月発行



活動事例３
地球温暖化対策×省エネ

推進員：高柳 圭吾さん　平良 栄康さん
　　上江洲　安邦さん
開催日：令和4年12月～令和5年1月

宜野湾市内の小学校3校にて、「手回し発電器」、「自転車発電」、「エネルギーのかばん」、「エコチャレンジカードゲーム」を用いた体験型の講座を開催しました。「自転車発電」で身近にある電気を発電する大変さを体感した上で、白熱電球とLED電球を付け比べる体験を通じて、どんな製品を選ぶかで地球温暖化対策に寄与できることを学びました。体験を通じて学習した子ども達が、脱炭素社会実現の観点から製品を選ぶようになることが期待できます。





活動事例４
地球温暖化対策×リサイクル

推進員：幸地 祐朔さん
開催日：令和4年8月17日（水）

読谷村の子育て応援講座にて、「リサイクル容器を用いたごみ減量の取組」をテーマに講話しました。所属する大学において、簡単にリサイクルできるフィルム付き使い捨て容器「リ・リパック」を活用したごみ削減の取組と寄付活動を通した社会貢献を紹介し、「リ・リパック」を実演してみせました。多くの参加者から「生活の中でどんなことが出来るか、考えるきっかけになった」「家でごみを減らす事から取り組んでいきたい」とアンケートの回答があり、ライフスタイルの変容が期待できます。



「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」について

脱炭素社会を目指すことは、実は豊かな暮らしの実現にもつながります。例えば日本はエネルギーの大部分を海外から輸入しています。もし、再生可能エネルギーを中心とした社会が実現できれば、これまで海外に出ていたお金が国内で循環することになり、大きな経済効果を生みます。沖縄県地球温暖化防止活動推進センターでは、脱炭素社会を目指すことで豊かな暮らしを生む事例を今後、紹介していきます。

その他の推進員の活動紹介

商工会会員等へのオンラインによる講演会、観光業者へのエコツーリズムに関する研修など、事業者を対象にした活動も行われています。脱炭素社会のため「何をしたらよいのかわからない」とお悩みの事業者の方は、センターまでお問い合わせ下さい。



Okinawa Climate Action OKICA
私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

発　　行：沖縄県環境部環境再生課
那覇市泉崎1-2-2　TEL 098-866-2064　FAX 098-866-2497
お問合せ：沖縄県地球温暖化防止活動推進センター（一般財団法人沖縄県公衆衛生協会内）
南城市大里字大里2013　TEL 098-945-2686　FAX 098-945-3973
URL https://okica.org　MAIL info@koeikyo.com　info@okica.org

2022年度版
OKInawa Climate Action
第　2　号
2023年3月発行

沖縄県地球温暖化防止活動推進員 NEWSLETTER

脱炭素社会の実現に向け、県内各地で活動展開中！

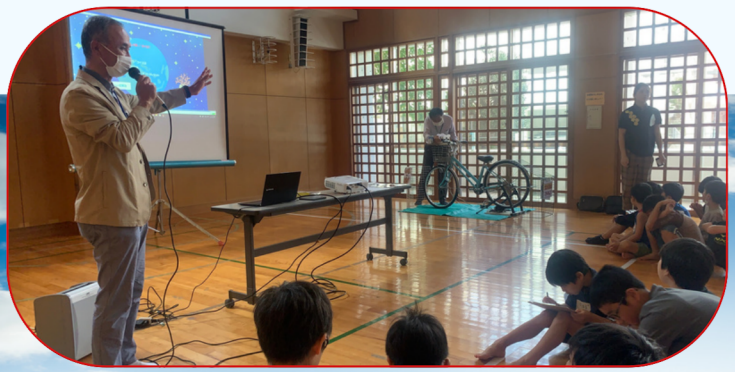
沖縄県地球温暖化防止活動推進員の2022年度の主な活動を抜粋して御紹介します。
推進員に出前講座等をお願いしたい場合には、沖縄県地球温暖化防止活動推進センターまで御連絡ください（連絡先は裏面のお問合せ先を御確認ください。）！



活動事例１
地球温暖化対策×エネルギー

推進員：大浅田　均さん
開催日：令和5年3月28日（火）

浦添市宮城っ子児童センターにて、気候変動対策学習教材（沖縄県作成）を活用して地球温暖化について学習後、自転車発電器と手回し発電器を使って白熱電球とＬＥＤ電球のつけ比べの体験をしました。その後、子供達と対話を行い、地球温暖化対策としてどんなことができるのかを考えてもらいました。





活動事例２
地球温暖化対策×海ごみ削減

推進員：春川 淳さん
開催日：令和5年3月16日（木）

B＆G財団の南九州ブロック担当者会議にて講演を行いました。宮古島島内で行うビーチクリーン等の活動を通じて得られたごみの分類、発生源の推測等のデータをもとに、どうすれば海ごみを減らせるかを説明しました。海ごみを減らすためには、ごみを正しく捨てることに加えて、買い物をするときにプラスチックを買わないことが大切であり、これは地球温暖化対策にもつながることを訴えました。



2022年度版
OKInawa Climate Action
第　2　号
2023年3月発行



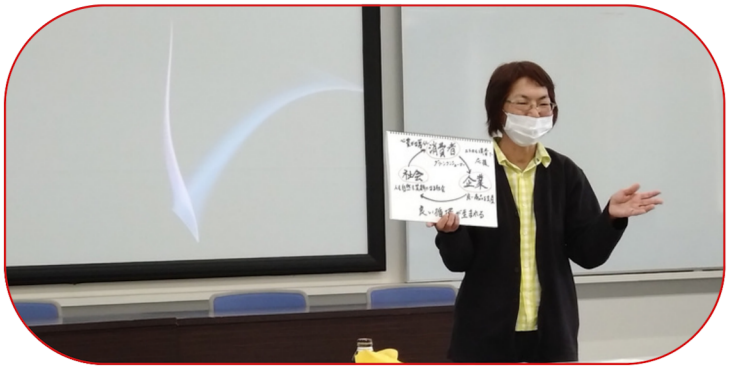


活動事例３

地球温暖化対策×エシカル消費

推進員：宮城 弘子さん
開催日：令和5年2月21日（火）

南風原町女性連合会が主催した講座にて、主婦等町民15名を対象に、那覇・南風原クリーンセンターの見学後、家庭から出るごみの量や種類などを学び、ゴミ問題が地球温暖化とも関係していることを伝えました。その後、買い物の仕方でゴミの量も減り、地球温暖化対策につながることをエシカル消費に基づいて伝えました。参加者の買い物の仕方が変わり、SDGｓの「つくる責任　つかう責任」の実現に貢献することが期待できます。



その他の推進員の活動紹介

商工会会員等へのオンラインによる講演会、観光業者へのエコツーリズムに関する研修など、事業者を対象にした活動も行われています。脱炭素社会のため「何をしたらよいのかわからない」とお悩みの事業者の方は、センターまでお問い合わせ下さい。



エシカル消費ってなに？



消費者それぞれが各自にとっての社会的課題の解決を考慮したり、そうした課題に取組む事業者を応援しながら消費活動を行うことです（消費者庁HPより）。

具体的には、買物をするときに、環境や社会課題に配慮した製品を選ぶことです。消費者が環境や社会課題に配慮した製品を選ぶことで、事業者はそうした製品をより多く作るようになり、環境や社会課題の解決に繋がります。

エシカル消費の例

- エコマークの商品
- 認証マークつき商品
- フェアトレード商品
- 地産地消(地元で生産した農産物を地元で消費)
- リサイクル素材を使用した商品
- 省エネ製品(LED電球や充電式電池など)
- オーガニック野菜
- 地球環境に配慮して作られたファッション

など



Okinawa Climate Action OKICA
私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

発　　行：沖縄県環境部環境再生課
那覇市泉崎1-2-2　TEL 098-866-2064　FAX 098-866-2497
お問合せ：沖縄県地球温暖化防止活動推進センター（一般財団法人沖縄県公衆衛生協会内）
南城市大里字大里2013　TEL 098-945-2686　FAX 098-945-3973
URL https://okica.org　MAIL info@koeikyo.com　info@okica.org